

アンケートのまとめ

講演について

「めざせ環境のパイオニア」をお聴きになった感想を記入してください。

- ・ 講師の先生の話は、新入社員にとってとても意味あるものだったと思います。これから先、もし同じ会社にずっといても初心を忘れずにいようと思いました。
- ・ 講師の方が留学した話がすごく印象的に残りました。今は留学に行く日本人は毎年大勢いますが、昔は日本という国を背負っていたのだなと思いました。
- ・ 下水道の話だと思っていたが、実際に話し始めると下水道の話ではあったが、今まであまり聞いたことのない歴史的な話やドイツでの体験などとても興味深く、おもしろい話であり、講師の常に前向きな考え方に関心を持ちました。
- ・ 作家として有名な森鷗外の下水道との意外な関係がわかり興味深く聞くことができました。しかし、それよりも講師の方の留学するまでの積極的な行動がとても印象に残り刺激を受けました。
- ・ 私が今後取り扱っていく下水道関連の歴史や起源がわかり参考になった。
- ・ 正直眠すぎてあまり聞けなく残念です。
- ・ まだ海外に行くことが難しかった時代に、その時代の最先端の技術を持つ欧州へ行った先人達はとても熱い情熱を持っていたのだと感じた。
- ・ このような講演は主に技術の話が多いのですが、今回は下水道の歴史を重点に話され今まであまり気にしてなかったところだったので大変ためになりました。
- ・ 森鷗外や後藤新平が下水道の歴史に関わっていたとは知らなかった。下水道の歴史的な話は興味深かったです。
- ・ 正直言って題名から想像していた内容とは全然違う話で良い意味で期待は裏切られた。知識としては面白かった。ただパイオニア精神を前面に押し出した講義では無かったように思う。
- ・ ほとんどが人物紹介とプロフィールで終わってしまった気がした。歴史的背景とその思想について少し触れていたが題名を聞いて想像、期待していたものとはかなり違った。
- ・ 講師の入社当時や留学の話が聞けて楽しかったです。
- ・ 下水道に関しての知識はほとんど無かったので、一つひとつが初めて聞くことばかりで興味を覚えました。特に森鷗外がドイツ留学した際にペッテンコーファー氏を師として下水道事業に深く関わっていたことが印象深かったです。
- ・ 根気強く物事に情熱を持って取り組んでいたらいつかいいようにことが進むんだなあと講師の体験と先人の歴史の話から思った。
- ・ 非常に聞きやすく、興味深い内容の話だった。特に体験談の中で活発な仕事ぶりを聞き感心した。
- ・ すいません。寝ていてあまり話を聞いていませんでした。
- ・ 排水処理よりもまず上水や道路の整備をするべきという考えがあったことと述べられていたと記憶しているのですが、その人間主体の考えが今日の環境悪化を招いたと感じました。様々な意見や考えからより正しいものを選択していきたいものです。
- ・ 講師が幅広い分野で環境に対して取り組まれており、技術者とは少し違ったイメージを持った。文献を引用しての話が多かったが、もう少し実務的、現在の仕事について聞きたか

った。

- ・処理がどうしたとか、BOD、CODといった水処理技術のことを考えることなく、純粋に技術者の環境開拓精神にふれることができた。様々な文献、本を紹介していただき、これまで見たこともない人物の成果にふれることができ有意義であった。
- ・歴史上で有名な人たちが下水道と大きく関係しているのを知って驚いた。100年以上前のヨーロッパで衛生問題に取り組んでいたことも驚きであった。
- ・講師がドイツに行かれた話を聞いて、自分自身がやりたいと思ったことは、まっすぐ向かっていく姿勢は私たち新入社員にとってはとても大切なことではないかと思いました。
- ・私は講師のプレゼンテーション能力が大変ためになりました。まず初めに自身の経歴でドイツ留学、それに至るまでの経緯、部署の枠を越えて仕事をしようと1年目からチャレンジしたこと等、「この人の話を聴きたい」と思わせる雰囲気作りをされました。その後の技術的な説明に関しても聴いておれば何かプラスになることを言うのでは？と注意して耳を傾け続けました。
- ・講演でいくつか自分で感じるものがあつたのでそれを自分の仕事に生かしていきたいと思いました。

あなた自身が持っている「パイオニア精神」とはどういったものですか？

- ・何事に取り組むときもそうだが、やると決めたことには全力でぶつかる。これが私の中の開拓心だと思います。
- ・私にはまだ未知のことに挑戦していけるだけの知識や経験がないので、今いる環境でベストを目指して行こうと思っています。それが自分のため、会社のため、社会のためにつながっていけばいいなと思います。
- ・与えられた仕事は拒まずに自分のまったく知らないようなことでも、とにかくやってみる、というチャレンジ精神。自分の世界が広がっ

ていくとともに自分自身の力もつくと思う。

- ・私は高校三年の時に環境問題に興味を持つようになり、それに関わる大学へと進学し、その後当社に入社しました。環境問題はこれからは色々な新しいものが生まれてくると思いますが、その解決法として色々なことが発想できるように、そのベースとなる知識の修得に励みたいと思います。
- ・深刻化する地球環境問題に対して世界各国で貢献できる様な製品を市場に出す。
- ・とにかく最後までやり抜く。
- ・自分に具体的なパイオニア精神があるのかわからないが、これから社会でより重要となってくるだろう。そしてまだ成熟しきっていない環境分野での仕事を行っているこの会社に入社したこともパイオニア精神ではないかと思う。
- ・私はどちらかというと保守的な考え方をする方なので、「パイオニア精神」があるのかは今のところわかりません。性格診断でも積極性に欠けると出ているので現在は保守的な考え方から建設的な考え方ができるように努力しているところです。そこで「パイオニア精神」を培って行きたいと思います。
- ・ある困難に直面したときに、投げ出すことなく自分で考えてなんとかしてやろうと思うのが自分の「パイオニア精神」だと思います。どんな問題でも必ず解決できる道があると思っています。
- ・私にとっての「パイオニア精神」には、「自分の内面への開拓」そこから生み出される「外界への開拓」がある。仕事に関する部分で言うと、今はまだ自分を磨くのに精一杯でアウトプットできるものはない。
- ・自分が興味を持った物事（勉学、スポーツ、趣味など何でも）はとりあえずチャレンジしてみて、自分の枠を越えていくよう努力すること。
- ・今はまだ備わっていませんので早く「パイオニア精神」を身につけたいと思います。
- ・「パイオニア精神」と呼べるものではないかもしれませんが、仕事をする上で新しいこと

を見つけないと思っています。営業の人のサポートがきちんとできる。また自分自身納得できる仕事ができるよういろいろな方向に視野を広げていきたいと考えています。

- ・既成の概念にとらわれすぎず疑問点を追求するという気持ち。
- ・日常生活に流されず、常に疑問点・改善点を考え、それを実行に移すこと。
- ・今は、自分の仕事を覚えることに精一杯で先のことなどあまり考えられないが、仕事ができるようになるように、装置などに不便を感じる声を聞くこともあるだろうし自分で感じることもあると思う。私はそのような現場で起こることから特に装置のことについて新しいこと、それは不便なことを補うという形で、より環境によいものを周りの人間と一緒に考えていきたいと思う。
- ・パイオニア的なものではないですが、同じことをするにも、少し工夫や努力をすることで差別化を行うことです。
- ・技術者として自分の意見ははっきりと言う。たとえ上司であっても技術者同志として対等に話す。既存の技術、制度、仕事におぼれてしまうことなく常に新しいこと、違った見方に目を向ける。
- ・古きをたずねて新しきを知る。基本を大事にする（Back to Basic）。広い視野を持つ。失敗を恐れない。大学時代からの信念です。
- ・今はまだよくわからないが、仕事をしていく上で見つけていきたいと考えている
- ・私は土木学科出身で、また社員になって初めて配属された部署が工務部で、しかもいきなり現場の方に行くことになったことから、資格を取る上でとてもいい勉強になると思うので、土木建築関係の資格を積極的にチャレンジしていこうと思います。
- ・私はパイオニア＝挑戦だと思います。本日の講師のように人と違った経験でも、人と同じであるけど、自分の中では未経験なことでも良いと思います。私が今持っているのは、人前で話すのは苦手であるけども「学生相手に会社説明ができるようになりたい。」という

「新しい自分を作りたい」という願望です。新しいことを学ぶ、新しい人と話すと言うことを意識して取り組んでいます。

- ・積極的に自分の意見を発言すること。機会を見つけチャレンジすること。

パンテックユニオンについて

今あなたが持っているパンテックユニオンの印象を教えてください。

- ・モンゴル。労働者のために頑張る。
- ・組合とは一般的にどういうものかわからないのですが、パンテックユニオンは堅苦しい感じがせず組合員の味方だという印象を受けました。
- ・労働組合というとかたいイメージがあったが、柔軟で親しみやすい印象を受けました。
- ・労働者の労働環境を守り、仕事以外のことにも目を向ける機会を創造し、与えてくれる組織という印象を今回のセミナーから感じました。
- ・少数ながら話を聞いてみなさまの真剣さを感じた。
- ・労働者のために頑張っている。
- ・労働組合というと何かと会社と争いのようなものをイメージしていたが、とてもアットホームな印象を受けた。また社員の組織に対する関心が薄くなってしまっていることに危険性を感じた。
- ・テレビでよく見る労働組合とは少し違う印象（共感が持てる）を持ちました。まだ活動の内容についてはよくわからないのが正直なところです。
- ・自分の持っていた労働組合のイメージは、ストライキしたりする過激なものだったので、それと比べてはソフトでとつきやすいという印象でした。名前も変わっていいと思います。
- ・人間臭くて温かい。会社や神鋼グループにこびない自立した団体。

- ・セミナーやボランティア活動が思った以上に多く、活動的であると感じた。
- ・少しかたい印象があります。
- ・モンゴルのボランティアや各セミナーのテーマなどを見て、いろいろな分野に目を向けて活動していると感じました。
- ・労働組合というと地味で意固地なイメージがあったが、集まりに参加して明るい開かれた雰囲気だと思った。
- ・仕事との両立が大変そうだと感じた。また体格がしっかりしている人が多いと思った。
- ・会社と一緒に明るい社員、会社を作ろうとしている。
- ・活発な活動をしていると感じました。
- ・労働組合というイメージはほとんどなく、パンテック社員（労働者）を下から支える。横のつながりに重きを置いている感じがした。
- ・活動的で仕事が速い（セミナーなどの報告がすぐ発行される）。社員との距離が近い。
- ・従業員のために様々なことを行ってくれありがたいと思う。労働組合があることは大切である。
- ・経営者と社員との潤滑油のような会社を成長させていく上で重要だと思います。
- ・少し魅力に欠ける感じがします。講演だけでなくスポーツ大会等もすればいいのではと思います。

パンテックユニオンにどんなことを期待しますか。

- ・モンゴルに連れて行ってってくれること。
- ・組合員の生活向上のための制度など。
- ・会社と労働者との関係を良い状態に保ち、社員の中の縦横の関係も良い関係を作り上げられるよう期待しています。
- ・当社は環境問題にも取り組む会社ですが、企業として利益を追求しなければならないという制限があると思います。そこで仕事としては取り組めない環境問題に取り組める活動があれば良いと思います。
- ・ささいな事まで情報公開すること。

- ・給料UP!!
- ・労働組合といっても、まず会社ありきだと思うので今の厳しい業績を回復するためにも、社員全員の心を一つにまとめるような活動を行ってほしい。
- ・福利厚生(住宅手当など)の充実を望みます。モンゴルへのボランティア活動はこのまま続けて下さい。
- ・労働に関するトラブルが起きたときは、しっかりフォローしてくれる存在であることを期待しています。
- ・パンテックに常に変革を促してほしい。
- ・多彩なセミナー、交流会などの実施
- ・モンゴルの子供達への支援活動を続けていくことを期待しています。(現状維持でずっと続けていくこと)
- ・やはり私達の労働条件を少しでもよくしてもらえることを一番期待します。賃金、休暇等もそうですが、快適な職場生活につながる活動、セミナー等がもっとあればよいと思います。
- ・更に仕事に対する意欲が湧いてくるような職場環境作り。
- ・神鋼パンテック、そしてその社員との良好な関係を築いていってほしいです。
- ・いろんな仕事についていろんな人と話をする場を作ってほしい。それは仕事のことでなく別のことで先輩の方との差がでない自分の考えをしゃべれる場が良いと思う。
- ・会員の生活面の向上を期待します。特に金銭面。
- ・労働者の意見をまとめ経営陣と話し合う。労働者一人ひとりの考えをきちんと吸い上げていってほしい。スポーツ大会など様々なイベントをし、交流を深める場を作ってほしい。
- ・全組合員が人員削減などに恐れることなく、高いレベルの仕事を維持できるよう、また楽しく仕事ができやりのある活気のある仕事場づくりを目指すよう活動することを期待します。
- ・自分たち社員の力をのばせるよりよい環境づくり。

- ・私がよく目にするのはパンテックユニオンのセミナーです。問でも答えましたが、社外の方との話が出来る場をつくって頂くことを期待します。また社内においても播磨、技研で働いていらっしゃる社員の方との交流がもてればと思います。(私が本社勤務なので)
- ・当社には大きく3つの事業部がありますが、それぞれが独立しているのではなくもっと一体感を持てるような活動をしてほしい。

自分のこと

入社2ヶ月がたった今の率直な感想を聞かせて下さい。

- ・全てが新しいことだらけで大変。しかし、周りの諸先輩方の大きな心に助けていただいております。
- ・4月に入社して2週間の本社研修を終え、現在の勤務地に配属され1ヶ月半がたちました。非常にあわただしかった2ヶ月でした。本社研修が終わって同期もバラバラになり新しい環境に入って行くのはとても不安でしたが、現在は周りの環境にも慣れ、先輩方もとてもやさしくして下さいるので、楽しく仕事をしています。私は学生時代に学んできたことが生かせそうな職場なので、仕事もやりがいがありそうです。
- ・毎日が新しいことだらけで日々勉強ですが、少しずつ仕事の知識を身に付けていると思います。ただ次々に新しいことが大量に入ってくるので、きちんと身に付くかどうか不安です。関西の言葉にもだいぶ慣れてきました。
- ・社会人としての規則正しい生活を始めてから2ヶ月。配属が決まり実際に働き始めてから1ヶ月がたちましたが、まだまだ分からないことが多いです。本社での業務だけでなく現場にある実験装置に行く機会も多く頂いているので、なるべく多くのことを吸収しようと思心掛けています。まだ与えられた仕事をこなすのが精一杯という感がありますが、なるべく早く仕事の仕組みや全体像を把握し、広い視野を持てるようになりたいです。そして一人前の社会人になって仕事の役に立ちたいと思います。
- ・ようやく職場の雰囲気慣れてきた。良い雰囲気だ。業務に関してはまだまだこれから学ぶべき事が多大である。
- ・東京に配属になりまだ地理も仕事も右も左もわからない状態です。
- ・ここまでとりあえず勢いで毎日を過ごしてきましたが、今、自分が現在の環境に適応し始めているのかがどうか、自分でもよくわからず不安でもあります。それは会社というところが幅広い年齢層で構成されているところであるからで、改めて人間関係の大切さを感じています。仕事も含めてまだまだ学ばなければいけない事ばかりで、これからはもっと忙しくなるでしょうが、ただ忙しいだけでなく充実した毎日にしていきたいと思っています。
- ・まだ右も左も分からなく、何をやっていいのか分からないのが現状です。しかし、日々、得られる知識が新鮮なので充実しています。
- ・仕事をするの大変さを感じています。学生の時より圧倒的に覚えること、することが多く、それに振り回されている感じです。早く仕事を覚えて自分のペースでやっていけるようにしたいです。
- ・職場の人たちと同期に恵まれて、楽しい社会人生活を送れていると思う。ただ、新入社員として社内の他の部署の人たちに会うとき、配属先を聞いた途端に嫌なことを言われて腹が立つこともあった。反骨精神で頑張ろうという気持ちはとても強い。
- ・時間の使い方が下手。もう少し空いた時間をうまく活用していくべきであると思った。まだまだ行動が受け身の姿勢であるため、もっと自分で思った事など積極的に発言し、行動していくべきだと思った。
- ・おおまかな事はわかってきましたが、細かいことに関してはまだまだなので、早く仕事ができるようになりたいと思います。
- ・支店に配属となり小さな所帯ですが、先輩に

恵まれ楽しく仕事をしています。ただ社内に1人ということがかなり多く、つい必要性に迫られる仕事以外を積極的にやる姿勢がくずれていたように最近思います。もっと視野を広げて新たな観点から物が見れるように努力していきたいと考えています。

- ・やるべき事、学ばなければならないことが多すぎて時間に追われていたような気がする。
- ・不景気のせい、社内が明るくないと思います。もう少しメールを活用して欲しいと思います。
- ・試用期間が終わって実際仕事がまわってくるようになってむずかしい事が多くて少し考えてしまう。しかし、いまからなのでがんばっていこうと思う。
- ・配属が決まって1ヶ月程度なので、少しは慣れてきましたがまだまだ分からないことばかりで大変であるというのが率直な感想です。
- ・人間関係では、上司の部長、室長クラスの方が意外と話し易いのでおどろいた。だんだん会社の悪い点(事業範囲拡大、技術力の底上げ、クレームの多さなど)が目についてきた。環境は市場拡大しているがパンテツクの実状は結構厳しい。
- ・予想以上に忙しいが、自分の実験、試験結果が試運転、客先への決定権を持っていることで、責任は重いがやりがいがある。時間のすぎるのは早く、また貴重であることを痛感した。
- ・仕事の面ではまだまだわからないことが多くあり、グループ内の方々の邪魔ばかりしているが、ようやく会社という場所に慣れてきた気がする。
- ・ただいま、学生時代と社会人の違いに直面してとまどっている最際中で、いかに今までの自分があまい生活をしてきたかを実感しています。
- ・自分の要領の悪さと考える力の無さを実感しています。足を引っぱるのではなく力になれるよう努力します。
- ・今まで自分が学んできた事があまり直接活かせない部署なのでまだまだ勉強という感じが

強いですが、やりがいを持って頑張ってるので充実感を持つことができます。

10年後の自分はどうありたいですか？

- ・会社の中で一番得意の分野を持った人物でありたい。どこに行っても自身のある態度でふるまえる人物でありたい。
- ・仕事で一人前に出来るようになっていきたいです。
- ・回りの人に信頼され、頼られる存在になりたいです。10年後は何処にいるか分かりませんが、関西弁が普通に話せるようになっていきたいです。
- ・何か1つ(以上)絶対的に自信のある分野を身につけていきたいと思います。そのためにも資格等自分のスキルアップにつながるものに積極的に取り組んでいきます。その他では、入社以来ほとんど運動できていないので心身共に健康を保つためにも運動は続けていきたいです。仕事でもプライベートでも自信を持った大人になれるように頑張ります。
- ・幅広く深い教養をもち状況を見据える事のできる人間になりたい。
- ・だれからも頼られる人間になりたい。
- ・はっきりいって想像が付きませんが、この会社も変わっているでしょうが、私も負けずに成長していい意味で変わってほしいです。どこでどんな仕事に携わっているかわかりませんが、心から笑って日々をおくってほしいと思います。2ヶ月で早くも5キロも太ったので腹がぽっこりでないように摂生してほしいです。
- ・先程も記入した通り建設的な考え方のできる人間になってほしいと思います。ただ自分の個性もだしていきたいと思います。
- ・10年後には技術者として一人前になり、ひとりでひとつの設備をきちんと設計して作れるだけの知識と能力を身に付けてほしいです。
- ・多彩な知識を持ったプロフェッショナルエンジニア。
- ・会社の第一線で活躍していけるようになりた

い。どんな仕事でも彼にまかせておけば大丈夫といわれるようになる。

- ・どんな事でもいいのでやりがいのあるものを持ってたいと思います。
- ・「10年後の自分」を考えたことはあまりないのですが、今よりもなにかを身に付けてたいと思います。仕事もちろん、私生活も含めて充実した日々が送れるよう、人間的に成長したいです。
- ・会社のリーダー
- ・あらゆる製品について客先、業者、社内の人に説明できるようになりたい。そのために一つ一つの現場の体験を大事にしていきたいと思います。
- ・仕事ができるようになっているのは当たり前で上の人からも下の人からもしたわれたりかわいがられるような人間でありたい。
- ・今の健康状態で気持ちもよい面で変わっていないというのが好ましいです。会社においては何か1つは出来るということを持ってたいです。
- ・仕事におぼれて無気力な人間にだけはなりたくない。10年後の新入社員が明るい希望を持てるような活力ある人間でいたい。人から頼られる仕事ができるようになりたい。
- ・気持ちは今のままで（新入社員のやる気）かわらずにいたい。仕事は自分らしさを失わずアクティブで独創性であるようにしたい。
- ・何か1つの分野を極めたい。
- ・周りの状況や相手の気持ちを理解でき、自分自身に余裕を持って仕事に取り組めていたらいいと思います。
- ・説得力のある人間になりたいです。そのためには自分の意志を持つ、そこにしっかりした根拠がある、その根拠を見つける力がある人間になれるように頑張ります
- ・会社の中で中心的な存在になるという事と1つでも自分が考えだした製品を作り出した

以 上